

# セアカゴケグモ にご注意ください!!

セアカゴケグモは、熱帯地方などに分布するクモで、毒を持っています。

倉敷市内では、平成20年4月に初めて発見されました。これまで確認されている事業所等敷地内では、管理者へ注意喚起を行っており、発見された場合はその都度駆除作業を行うよう周知しております。

しかしながら、その後も断続的に本種が発見されています。さらに、今回、本市では、これまで確認されていなかった住宅地において初めて発見されたことから、その分布の拡大が懸念されます

春・夏・秋は、クモの活動が活発になる時期です。咬まれないように注意しましょう。

また、見つけた場合には積極的に駆除を行うなど、分布範囲をひろげないようにご協力くださいますようお願いいたします。

## 1 セアカゴケグモの特徴

- ・ メス：10～15mm 全体的に黒色又は濃い褐色。腹部の背側に赤色の帯状模様がある。
- ・ オス：3～5mm 腹部の背の部分に白い斑紋がある。
- ・ オス・メスとも、腹部にゴケグモ属の特徴である鼓<sup>つづみ</sup>型の斑紋がある。
- ・ 卵のう（卵の入った袋、雌が糸をまいてつくる）：6～9mm 白～ベージュ。  
※オスによる咬傷事例は無いとされています。

## 2 生息場所

- ・ 日当たりの良い場所。
- ・ クーラーの室外機、浄化槽ブロアーカバーといった人工的な熱源の周り等、暖かい場所。
- ・ 巣をはるのに適切な隙間がある場所。

## 3 駆除方法

- ・ 市販の殺虫剤を吹きかける。
- ・ 足で踏みつぶす（卵には殺虫剤の効果が薄い。）。

裏面に良く似たクモとの見分け方を記載しています。

## 4 咬まれないために



- ・ 野外で作業をするときは、手袋をする。
  - ・ 不用意に隙間に手を入れない。
  - ・ クモの生息しそうな場所を、こまめに清掃する。
- ※特に、溝掃除の際のフタの移動、戸外に置いてあるものの移動など目の届かない部分の作業には注意してください。

## 5 咬まれたときは

- ・ 針で刺されたような痛みを感じる。
- ・ 咬まれた場合は、病院で治療を受けること。

## 【セアカゴケグモと良く似たクモ】

セアカゴケグモの特徴は、体の赤い模様ですが、私たちの身近には、他にも体に赤い模様をもったクモがいます。ここでは、代表的なものとして「ジョロウグモ」を紹介します。

	セアカゴケグモ	ジョロウグモ
写真	 <p>赤い模様 黒い体</p>	 <p>黒い体に黄色の模様 赤い模様</p>
原産地など	オーストラリア原産 日本では特定外来生物に指定されている	日本在来のクモ 夏以降に成熟し、秋に産卵する
大きさ(頭から胴までの長さ)	メス:10~15 mm、オス: 3~5 mm	メス:20~30 mm、オス: 6~10 mm
模様	・メスは、 <b>黒色の体</b> 、腹部に赤いひょうたん模様	・背中側に <b>黄色と黒のまだら模様</b> や縞模様 ・腹側に赤い模様
腹部	丸っこい	細長い
巣	ブロックの隙間など <b>地面に近い場所</b> に不規則な形で作る	木の枝や家の軒先など <b>空中に網目状</b> に大きな巣を作る

お問い合わせ先

倉敷市環境リサイクル局環境政策部 環境政策課

電話:086-426-3391